

一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会
臨時理事会議事録

1. 開催された日時 2019年12月11日(水) 14時00分～15時30分

2. 開催された場所 一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会 研修室
(大阪市中央区谷町六丁目4番8号 新空堀ビル204号)

3. 理事総数及び定足数 総数27名、定足数14名

4. 出席状況 22名

出席理事：立石容子(会長)、小野恵美子(副会長)、高澤洋子(副会長)、
片岡桂子(副会長)、前川たかし、西元直子、横手喜美恵、長濱あかし
井上恵実、松本康代、岩出るり子、山口恵子、錦織法子、吉田美登利、山崎京子
米原早苗、芋生和代、井坂徳子、井上ゆかり、村山真弓、塩津浩美、山本克美
欠席理事：中尾正俊(副会長)、雨師みよ子(副会長)、宮川松剛、梶山直美、松井由加里
出席監事：安田照美
欠席監事：北村俊雄

5. 議事

議事は高澤洋子副会長の司会で定足数の確認後、議長を立石容子が行うことを確認し、議事録署名人として議長および安田照美監事の2名を選出し開会した。

6. 審議事項

第1号議案 「在宅患者災害時支援に関する協定書(案)」について

議長より、前回からの継続審議である本議案につき、藤木新生法律事務所の弁護士3名による条文確認及び修正を経て、大阪府の担当者との間でも合意が得られた旨の報告があり、事業の趣旨の変更及び修正箇所につき説明がなされた後、本協定案の賛否を議場に諮ったところ満場一致で承認された。

第2号議案 弁護士との顧問契約について

議長より、第1号議案の協定書について相談を依頼した、藤木新生法律事務所との顧問契約の締結につき、議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

なお、契約内容は別紙「契約書」の通り。

第3号議案 令和2年度表彰について

議長より、大阪府による令和2年度「看護事業功労者」及び「不問看護ステーション」表彰につき、三役会において検討した結果、下記の者及びステーションを推薦したいとの提案があり、議場に諮ったところ、満場一致をもって承認された。

記

1. 看護事業功労者表彰
井坂 徳子（理事）
2. 大阪府訪問看護ステーション表彰
大阪中央訪問看護ステーション
ひらかた聖徳園訪問看護ステーション
訪問看護ステーション帝塚山もも

以上

7. 報告事項

1) SLACK への移行状況について

議長より、12月2日をもってサービスが終了したフリーメール GMO に代わるメディアとして採用した SLACK の良好なる使用状況につき報告があった。

2) 大阪府訪問看護シンポジウムについて

議長より、資料を基に下記要旨の説明があり、出席者で確認した。

記

1. 目的：在宅精神科領域に係わる関係機関・職種・行政などが抱える現況や課題の相互理解を図り、地域連携体制づくりの第一歩とすることができる
2. 日時：令和2年2月15日（土）14時～16時45分（予定）
3. 会場：大阪府医師会館 4階大会議室
4. 対象：医師、看護師、訪問看護に係わる専門職、行政職員等、300名（無料）
5. 講演：講師：澤 滋（社会医療法人北斗会さわかみ病院院長）
座長：阪本 栄（大阪府医師会理事）
6. シンポジスト
三家 英明（医療法人三家クリニック院長）他

以上

3) その他

a.在宅患者災害時支援体制整備事業の進捗

議長より、資料として「拠点一覧」及び「人工呼吸器装着者の予備電源確保推進にむけた災害対策マニュアル」を基に説明があった。

また議長の指名で、吉田美登利理事から令和2年3月14日に開催予定の Google フォームを利用した、研修について報告があった。

b.研修・イベント関係

※看護未来展 2020

議長より、最終日の国際会議ホールでの講演につき、松本一生先生の快諾を得たことが報告された。

また、錦織法子理事より未来展が今後どうあるべきかを考え、そこから研修を発案することが重要ではないかとの発言があり、これを基に出た意見を以下に記す。

- ・ Expo は企業が対象であり、未来展は府民が対象であるので、知りたいことが多いため、研修の間口は広いのではないか（小野副会長）
- ・ 訪問看護はケアマネジャーの適切なプラン提供促進のためにも退院後の在宅成功例を示す研修、キャッチコピーをつくるはどうか（西元理事）
- ・ 病院ナースの訪問看護への興味を満たす研修（前川副会長）
- ・ ①「誰でも家に帰れる」、②「生きる力を引き出す訪問看護の力」この2点を中心にした研修会の企画（高澤副会長）
- ・ 「いかにしてケアマネジャーの質を上げるか」を主題とした研修（横手理事）
- ・ 「だれでも、どんな状況でも帰れる！」などの魅力的なキャッチフレーズの創造（片岡副会長）

議長より、未来展の担当者設置が必要であるとの提案があり、後日、指名するとの発言があったため、議事に留める。

※実態調査について

議長より、大阪府から委託を受けた事業としての実態調査につき、ウェブを中心としたものになる予定との現状報告があった。

※研修申し込み及びアンケートのWEB化へのご協力

議長より、次年度以降の標記ウェブ化への取り組みにつき、各理事への協力が求められた。

c.2019年訪問看護のご案内（簡易版）

議長より、標記につき現在印刷中であり、訪問看護推進のイベント等での無償配布が可能であること、次年度より有償での配布も可能とすることが報告された。

d.情報交換等

① 障がい児通学支援について

議長の指名で岩出るり子理事より、現時点詳細は決定していないが、大阪府としては、来年4月開始を目標としているとの報告があった。

また、松本康代理事より豊中市では、独自に、学校生活中で訪問看護師の利用案（制度外）が出ていることが報告された。

議長より、支援学校と普通学校の2種類があり、障害児を持つ親からの問い合わせもあるが、その対応の複雑さも併せ、各種情報は慎重に取り扱うようにと説明がなされた。

② 2020年の日本看護協会学会について

小野副会長より2020年度学会の開催予定報告と協力依頼があった。

○「第51回日本看護学会－看護管理－学術集会」

日時：2020年7月21日、22日

会場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）リーガロイヤルホテル

③ 訪問看護財団サミットについて

長濱あかし理事より、2020年度訪問看護サミットの開催予定報告と協力依頼があった。

○「訪問看護サミット」（日本訪問看護財団）

日時：2020年11月7日、8日

会場：千里阪急ホテル

④ 日本地域看護学会について

議長より、当協会後援の2020年度地域看護学会の開催予定報告があった。

○「日本地域看護学会」

日時：2020年8月28日・29日

会場：大阪国際交流センター

議長より、次年度大阪開催のイベントが多数開催されるため、意欲的に協力・参加していくよう、呼びかけられた。

以上をもって本日の議事が終了したので、この議事録が正確であることを証するため、出席した会長及び監事は記名押印する。

2019年11月7日

会 長 立石 容子

監 事 安田 照美